

編集方針

太陽誘電は、投資家をはじめとする様々なステークホルダーの皆様とのコミュニケーションのツールとして統合報告書を発行し、財務情報や経営戦略、ESG（環境・社会・ガバナンス）情報を掲載しています。信頼性の高い電子部品の提供をはじめ、各種モジュール・ソフトウェアを含めた総合的なソリューション提案によってお客様や社会の課題解決を図る取り組みなど、太陽誘電がどのように持続可能な成長と社会への貢献を実現していこうとしているのかについて、分かりやすくお伝えすることを目指しています。

今後もステークホルダーの皆様からのご要望に真摯にお応えしていくとともに、太陽誘電の活動をより深くご理解いただけるよう努めてまいります。

CONTENTS

2 Our Profile

Section 1

価値創造ストーリー

6 ミッション・経営理念・ビジョン

8 価値創造の歴史

10 ビジネスフィールド

12 目指す姿

14 マテリアリティ

16 中期経営計画2025 (2021～2025年度)

18 財務・非財務ハイライト

20 社長メッセージ

26 財務担当役員メッセージ

Section 2

価値創造のための戦略

30 スマート商品の開発体系

32 市場環境と事業の展開

34 価値創造モデル

36 営業概況 At a Glance

38 Feature

サプライチェーンにおける
リスク対応

太陽誘電の財務・非財務に関する詳しい情報については、
太陽誘電WEBサイトをご覧ください。

株主・投資家情報

<https://www.yuden.co.jp/jp/ir/>

サステナビリティ

<https://www.yuden.co.jp/jp/company/sustainability/>

40 R&D

43 人材戦略

Section 3

価値創造を支える基盤

48 Feature

実効性の高いガバナンスを
目指して
—社外取締役座談会—

52 ESG

52 (G)コーポレートガバナ
ンス

60 CSRマネジメント

61 (E)環境関連活動
(S)社会関連活動

データセクション

64 11年間の
財務・非財務サマリー

66 財務レビュー

68 連結財務諸表

76 会社情報

77 株式情報

報告対象範囲

本報告書は、太陽誘電株式会社、国内子会社11社、海外子会社22社を合わせた34社(2021年3月31日時点)を対象としています。

参考ガイドライン

編集においては、IIRCが推奨する国際統合報告フレームワークや経済産業省の価値協創ガイドラインを参考にしています。ESG情報に関しては、環境省の「環境報告ガイドライン(2012年版)」を参考にしています。また参照ガイドラインとしてGRIスタンダードを利用しています。



GRI対照表は当社WEBサイトにてご覧いただけます。

<https://www.yuden.co.jp/jp/company/sustainability/misc/GRI/>

注意事項

- 本報告書において、事業年度は以下の通り表示しています。
例：2020年4月1日から2021年3月31日まで
2020年度または2021年3月期
- 本報告書に記載されている金額は、億円および百万円未満を切り捨てて表示しています。
- 本報告書の財務データは、日本の会計基準および関連法規に基づいて作成したものであり、当社の英文アニュアルレポートとは異なる部分があります。
- Bluetooth®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有しており、ライセンスに基づき太陽誘電株式会社が使用しています。
- 本報告書の記載内容は、2021年6月29日時点のものです。

免責事項

本報告書は、太陽誘電グループの業績および事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、太陽誘電株式会社の株式購入や売却を勧誘するものではありません。本報告書の内容には、将来の業績に関する意見や予測などの情報を掲載することがありますが、これらの情報は、現時点の当社の判断に基づいて作成しています。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更することがあります。本報告書利用の結果生じたいかなる損害についても当社は一切責任を負いません。また、本報告書の無断での複製・転記などを行わないようお願いいたします。